

令和6年度学校評価表（外部評価）

No	外部評価項目（学校評議委員用）	評価			
		適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
1	自己評価の実施方法は適切か。 （重点目標、評価項目設定等は適切か）	80%	20%	0%	0%
2	取り組みは適切か。 （重点目標を受け、取り組んだ内容は適切か）	80%	20%	0%	0%
3	自己評価は適切か。 （自己評価の結果は適切か）	80%	20%	0%	0%
4	改善方策は適切か。	60%	40%	0%	0%

*意見・アドバイス

○長い間、寮生活の施設設備の予算確保を求めてきたが、この度エアコン設置の予算が確保できた事、快適に暮らす条件として評価したい。更なる老朽化した施設の修繕をお願いしたい。

○毎回検討評価される内容に学校施設等の老朽化が指摘されているが、県の予算措置から改善が難しい状況にあることが報告されている。しかしながら、2年間の在学中に学ぶ施設が十分に整備されていない現在の状況が続いていることは、学生募集においてもマイナス要因となっているとも思われる。過去の学校評価でも指摘しており、この内容の改善を強く要望する。

○寮の土・日使用と食事問題がある。

○給食事業について、学校の米、野菜は学食で提供されていると思われるが、健康と栄養を考えた献立づくり、学生の声を反映した内容に努めていただきたい。

○海外研修も良いが、国内研修もあっていいと思う。

○重点目標にある、先進的な機器等の整備は、新たに農業に取り組む方々に大きな力を与えるものであり積極的に進めていただくことを期待している。整備にあたっては、機械は陳腐化が早いいため、購入にこだわらず、学生が先進的な機器等を体験できるようお願いしたい。

○学校評価の教育環境で教職員のまとまり、信頼関係が1学年と2学年で10ポイントの開きがあることに注目した。資質向上のため、横のつながりを重視した研修をお願いしたい。

○取組を実施したことによって、学生はどのように変容したのかをとらえて表記することが必要。